

Tezuka Monthly News!

No.340 Issue date:2025.1

2025年 年頭所感

株式会社 テヅカ

代表取締役社長 三橋 誠

皆様、あけましておめでとうございます。昨年も皆様方に大変お世話になりました事を厚く御礼いたします。

2024年を振り返ってみると、本当に予想もつかない多くの出来事が起こり、それに日本経済も大きく影響を受けた1年でした。勿論最初から全て予想の付く世の中ではないので、何が起きても想定内かもしれませんが、その想定範囲が一昔前に比べれば大きくなっている気がします。今や世界と日本の繋がりは深く相互依存の関係は切っても切れませんが、侵略や宗教戦争、テロや予想もしない各国の政権争いなど不安定要素が拡大した結果、世界や日本の経済界は何を信じて未来に投資すればよいのか、判断をつきかねているように見えます。昔から企業の最大の競争相手は時代の変化と言われていますが、まさにその大変化にどう対応するのか、今我々は問われています。

世の中を最も効率的に動かそうとすれば、世界各国がそれぞれの得意分野（農業、漁業、製造業、ソフト、etc.）を受け持ち、それを伸ばす事が一番正しい方法だと思います。しかし、其れに政治的や経済的な思惑が入り、輸出、輸入に不適切な制限を掛ければ、当然のように効率よりも自国主義が優先され、誰も得をしない世界に突入します。資源に恵まれない日本は、どのような規制を掛けられても物造りが国力の基本となりますので、競争に負けない良い製品を作る事で、この難しい時期を乗り越えなければなりません。価格も一つの競争要素ですが、為替の問題もありそれ以外の製品の優秀性や差別化が、これからも日本の製造業には求められています。その製造業を支える我々機械工具業界も常に最新の情報と技術を、メーカー様からユーザー様へ遅滞なく共有できる営業施策が必須となってきました。

最近のテヅカの主な営業活動として、販売店様がメーカー様と同行してユーザー様へ訪問する同行PR企画の実施や、各地で販売店様やユーザー様を招いてメーカー様の技術及び製品講習会を開催する情報提供に力を入れています。どんなにECが発展しても、画面越しでの説明はリアルに比べれば説得力を欠きます。その為新製品の多くが画面だけではその良さをユーザー様に伝えきれず、結局マーケットに浸透するまで思わぬ時間と手間が掛かっているのが現状です。その解決策としてメーカー同行PRや技術及び製品講習会は、ユーザー様の問題点を直にメーカー様に伝えられる為、早い対応が可能になっています。また、商売としてもユーザー様が何をかうか決めた後の相見積り、問題提起から始まり商品選択までメーカー様の協力の元で行った見積りでは、おのずとどちらが優位なのかがはっきりしています。やはり汗をかく地道な商売を追求しないと、販売店様やユーザー様からの信頼関係を得られず利益も確保出来ない事になり、業界での生き残りが難しくなっていくと思っています。

何が起こるか全く分からない混沌の時代ですが、世界の、そして特に日本の製造業を支える機械工具の流通業として、テヅカはこれからも同行PRや技術及び製品講習会開催などの基本に忠実な営業施策を推進していきますので、2025年も皆様方のご指導、ご鞭撻を宜しく願っています。



株式会社 テヅカ



ISO9001



日本機械工具商社
認証取得第1号

お問合せ: 本社センタービル

〒143-0011 東京都大田区大森本町1-9-10

TEL 03-3766-6011 / FAX 03-3766-2658



2024年度 MTA 秋季総会 開催

昨年12月3日(火)にホテル雅叙園東京に於いて2024年度MTA秋季総会が開催されました。
主要仕入れ先様64社100名、報道関係者様2社3名、テヅカからは28名が参加し
2025年に向け相互の連携を強める会となりました。



【MTA会長ご挨拶】

オーエスジー株式会社
代表取締役会長 兼 CEO 石川 則男 様

【テヅカ経営報告】

株式会社テヅカ
代表取締役社長 三橋 誠

【テヅカ営業報告】

株式会社テヅカ
常務取締役 営業本部長 三橋 大輝

【乾杯のご発声】

株式会社コガネイ
代表取締役社長 安西 弘道 様

【中締め】

三菱マテリアル株式会社
営業本部 本部長 藤林 佳之 様

MTAとは

MTAはMaker&Tezuka Associationの略で、テヅカと
主要仕入れ先様(メーカー様)との会となります。

緊密な連携を図り販売サービスの拡大を目的に、
1968年(昭和43年)に結成しました。

発足以来、春の春季総会、秋の秋季総会の年2回開催しており、
三橋社長をはじめとするテヅカ幹部社員と、
仕入れ先様(メーカー様)の経営者、営業責任者の方々との貴重な
情報交換と、連携強化の場として運営させて頂いております。